

- ① 配本希望部数をご記入のうえFAXにてご連絡をお願いいたします。
希望部数を優先して配本しておりますので、ぜひお申し込み下さい。
- ② 小局ホームページより、「新刊のご案内」最新号がダウンロードできます。
- ◎ **委託での配本ではございません。**
注文返条付の出荷とさせていただきます。

通巻 **369-2** 号

注文扱い

番線印

法政大学出版局 **2026年3月出来予定** 予価5280円(本体4800円+税) A5判上製・360頁
 部数 國分典子 編著 《法政大学現代法研究所叢書 57》
東アジアにおける憲法裁判制度と司法の変容 ISBN978-4-588-63057-6 C3331
 近年東アジアでは、ドイツを範とする憲法裁判システムが注目されている。特に韓国、台湾では、民主化以降、憲法裁判を通じて人権保障が強化される一方、「政治の司法化」も指摘されるようになってきている。本書は、韓国、台湾にインドネシア、モンゴルも加えて、各地域の専門家が憲法裁判システム導入の背景と機能、それがもたらす司法の変容を論じた共同研究の成果である。 【憲法・司法】
 ☆関連書：『実効的救済の現状と課題』（同叢書54）、『権威主義化する世界と憲法改正』（同叢書53）。

注文扱い

番線印

法政大学出版局 **2026年3月出来予定** 予価3850円(本体3500円+税) A5判上製・250頁
 部数 建石真公子 編著 《法政大学現代法研究所叢書 58》
立憲主義をめぐる東アジアと西欧の課題 ISBN978-4-588-63058-3 C3331
 現代世界において立憲主義とは何か。「民主主義」と「法の支配」、「憲法の規範性の保障」を通じて統治権力を統制する思想を核とする仏・英および国際人権保障の制度や、いまだ憲法政治の歴史が浅く政治体制の多様な東アジア諸国における現在の立憲主義の課題を、専門の研究者らが明らかにする。立憲主義の今後をグローバルに考えるための指針となる書。 【憲法学・政治学】
 ☆関連書：『権威主義化する世界と憲法改正』（同叢書53）、『市民社会と立憲主義』（同叢書34）。

重版決定！

番線印

法政大学出版局 **2026年3月下旬重版出来** 定価4400円(本体4000円+税) 四六判上製・430頁
 部数 ミシェル・フーコー 著／阿部 崇、福田美雪 訳 《叢書・ユニベルシタス 1148》
狂気・言語・文学 ISBN978-4-588-01148-1 C1310
 狂気、言語、文学は、長らくフーコーの思考の中心的位置を占めていた。社会や文明における狂人の位置づけ、バロック演劇、アルトール・ヤルセルの作品に見られる狂気と言語の関係、文学と言語外的なもの、バルザックやフロベール、そして文学分析と構造主義。問いを絶えず組み立て直し、これらの主題系を照らし出す新たな光が、フーコーの思考の新たな射程と可能性を提示する。未刊の講演とテキスト。本邦初訳！ 【哲学・思想】
 ☆関連書：2026年ミシェル・フーコー生誕100年！ 今回の重版より本体価格が3800円→4000円に変更となります。

重版決定！

番線印

法政大学出版局 **2026年3月下旬重版出来** 定価4950円(本体4500円+税) 四六判上製・470頁
 部数 ジル・ドゥルーズ 著／財津 理、齋藤 範 訳 《叢書・ユニベルシタス 855》
シネマ1 * 運動イメージ ISBN978-4-588-00855-9 C1310
 戦後ばかりでなく戦前の数多くの映画作品を自由に踏査しながら、「運動イメージ」の詳細な分析を通して「映画のイメージにおける思考」にいたるドゥルーズの真に創造的な傑作。『シネマ2』にたいしてその必然的な前提である『シネマ1』は、物語的内容を論じる映画論や、たんなる映画史としてではなく、「映画に現れるかぎりでのイメージと記号の分類の試み」の原理を明確に提示する。 【哲学・思想】
 ☆関連書：『シネマ2 * 時間イメージ』（小局刊）。

ご担当者様 氏名： [] 担当ジャンル： [] TEL： []

【お願い】

配本の際、ご担当者様の記名が必要となりました。
 ご面倒とは存じますが、ご担当者様欄のご記入をお願い申し上げます。

Fax. 03-5214-5542

法政大学出版局

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3

Tel. 03-5214-5540 E-mail: sales@h-up.com URL: https://www.h-up.com/